

## Y13b 学生と科学系教育施設の協力による天文学普及活動の報告 2

平松 正顕、高梨 直紘 (東大理)

天文学を専攻する学生と科学館・プラネタリウム職員などが協力して天文学の普及事業を行う活動『天文学とプラネタリウム』(<http://www.tenpla.net/>) について報告する。

過去の年会でも発表したように、この活動は『天文学とプラネタリウム・メーリングリスト』内での意見交換・交流をもとにした様々な事業から成り立っている。これまでに実行された事業としては、プラネタリウム・科学館での子供向け天文教室や大人向け講演会の講師、楽しみながら天文学に触れることのできる天文タイピングゲーム、天文情報を印刷したトイレットペーパーの開発、科学館展示・プラネタリウム番組からウェブページの素材としても幅広く利用できる画像アーカイブの開発などがある。

これらの事業は、MLを基本にしているとはいえ、外部からの依頼や一部の活発に活動している人に依存している面が大きく、「天文学の普及に興味がある学生」に活躍の場を提案する、というこの活動の当初の目的が果たされているとは必ずしも言いがたい。そこでこの活動にプロジェクト制を導入し、MLで出てきたアイデアを効率よく企画として練り上げた後に再度MLで賛同者を募るというスタイルをとることにした。こうすることにより、どのような企画にどのような形態で参加できるのかがML登録者にとってわかりやすくなるものと考えられる。講演では、『天文学とプラネタリウム』のこれまでの活動のまとめと現在の活動形態について報告し、今後の展望について述べる。